

3 調査

I 世論調査

区では、区民の区政に対する意識や意向を的確に把握するために、昭和 49 年から 2 年に一度、世論調査を実施しています。今回の調査は、経年変化をみる「定住性」に加え、「幸福実感度や地域愛着度」「SDGs」「水辺利活用」などの項目についてもおたずねしました。

(1) 調査の概要

調査対象：品川区在住の満 18 歳以上の男女個人（令和 6 年 7 月 1 日現在）

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

対象者数：2,500 人

調査方法：郵送配布・郵送回収またはインターネット回答

回収数：948 人（郵送回収 530 人 インターネット回答 418 人）

回収率：37.9%

調査期間：令和 6 年 8 月 15 日～9 月 15 日

(2) 調査の内容

令和 6 年度は、14 分野 36 問について調査しました。

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 幸福実感度や地域愛着度について
- 4 公共施設について
- 5 地域活動への参加について
- 6 スポーツ・運動の実施状況について
- 7 SDGsについて
- 8 環境について
- 9 ごみ減量・リサイクルについて
- 10 みどりについて
- 11 水辺利活用について
- 12 心の健康・自殺対策について
- 13 防災について
- 14 広報とデジタル化について

(3) 調査の結果

1. 定住性について

定住意向をたずねたところ、「ずっと住みたい」(48.7%)と「当分は住みたい」(43.9%)を合わせた『定住意向』は 92.6%であり、非常に高い割合となっています。

2. 生活環境について

生活環境を評価点でみると、「交通の便」「買い物の便」は 4 点を超える高い評価点となっています。他方、「騒音や振動」「海・川・運河などの水の汚れ」「住宅の密集具合」といった、生活の快適さに関する項目で評価点がやや低くなっています。

3. 幸福実感度や地域愛着度について

自分らしく幸せに暮らしていくために、重要だと考えることは、「大変満足」と「やや満足」の割合を合わせると「犯罪がない地域での安心した生活」(64.0%)が最も高く、次いで「自由な時間や充実した余暇」(63.3%)、「安全・快適に住む場所の確保」(62.2%)の順となっています。

4. 公共施設について

優先的に整備していくべきと考える施設をたずねたところ、「福祉保健施設(障害者福祉施設・高齢者福祉施設・健康センターなど)」が21.0%で最も高く、次いで「子育て支援施設(保育園・幼稚園など)」(13.4%)、「文化・スポーツ施設(文化センター・体育館など)」(12.4%)、「学校教育施設(小・中・義務教育学校・教育支援センターなど)」(9.4%)、「社会教育施設(図書館・歴史館など)」(8.5%)の順となっています。

5. 地域活動への参加について

町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が 43.7%で 4 割半ばとなっています。一方、「加入していたことがある」(3.6%)と「加入したことがない」(39.3%)を合わせた『加入していない』は 42.9%となっています。

6. スポーツ・運動の実施状況について

スポーツや運動を行う頻度をたずねたところ、「週に 3 日以上」が 30.0%で最も高く、次いで、「週に 2 日」(16.5%)、「週に 1 日」(13.9%)となっています。一方、「実施しなかった」は 14.5%となっています。

7. SDGsについて

SDGsの認知度をたずねたところ、「内容まで知っている」が 53.6%、「内容までは

わからないが聞いたことはある」が 37.8%となっています。一方、「聞いたことがない」は 7.7%となっています。「内容まで知っている」(53.6%)と「内容まではわからないが聞いたことはある」(37.8%)を合わせたSDGsを認知している人は 91.4%となっています。

8. 環境について

環境を守るために日常生活で心がけていることをたずねたところ、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」が 67.5%で最も高く、次いで「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」(57.4%)、「節電、節水を心がけている」(54.0%)の順となっています。

9. ごみ減量・リサイクルについて

各種事業の認知度をたずねたところ、「プラスチックを資源として回収」が 85.5%で最も高く、次いで、「『資源・ごみの分け方・出し方』冊子の発行」(53.3%)、「古着、廃食用油、不用園芸土、小型家電の拠点回収」(47.4%)、「フリーマーケットの開催・運営支援」(23.9%)、「資源物持ち去り禁止」を周知・徹底させるためのパトロールの実施」(14.6%)の順となっています。

10. みどりについて

品川区のみどりについてたずねたところ、「とても多い」(5.2%)と「やや多い」(36.2%)を合わせた『多い』は 41.4%となっている。一方、「やや少ない」(36.7%)と「とても少ない」(9.4%)を合わせた『少ない』は 46.1%となっています。

11. 水辺利活用について

水のきれいさや水辺空間の整備の満足度をたずねたところ、「どちらともいえない」が 40.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば満足」(31.2%)、「どちらかといえば不満」(13.4%)、「満足」(8.2%)、「不満」(4.9%)となっています。「満足」(8.2%)と「どちらかといえば満足」(31.2%)を合わせた『満足』している人は 39.4%となっています。

12. 心の健康・自殺対策について

心や身体の休養が十分にとれているかたずねたところ、「まあまあとれている」が 52.2%で最も高く、次いで、「十分とれている」(24.3%)、「あまりとれていない」(18.8%)となっています。「十分とれている」(24.3%)と「まあまあとれている」

(52.2%)を合わせた、心や身体の休養が『とれている』は 76.5%となっています。

13. 防災について

今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄(非常用携帯トイレ、水など)」が86.8%で最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」(54.3%)となっています。＜公助＞自然災害(地震、津波、風水害、がけ崩れなど)発生時における帰宅困難者対策」が 54.6%と最も高く、次いで「さまざまな情報発信」(48.7%)となっています。

14. 広報とデジタル化について

区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が58.6%で最も高く、次いで、「品川区ホームページ」(32.1%)、「品川区公式SNS等(X(旧Twitter)、Facebook、LINE)」(18.2%)の順となっています。